



経済安保法と云うが経済弱体化法

経済安保法が成立した。幾つかの項目があるが、その一つが、特定重要技術の開発支援。しかし、何がその技術にあたるのか、法律には規定がなく、政府が決める。すると与党への献金額が支援する会社になのでは？

研究成果の非公開指定も可能。成果の分からない研究に支援？

特許についても

他国が知ると国の安全を損なう特許を非公開にする条項もある。

その非公開特許を持つ会社Aは、新技術を開発中の会社Bに「当社の特許に触れる」とクレーム。「何故？どこが？」と聞いても「それは非公開」。これでB社は技術開発を断念。企業の新技術開発意欲をなくす「日本経済弱体化法」ではないか？

非公開特許の情報は外国にも非公開。第三者がその内容を盗み外国で新製品を作っても特許違反と云えない。

「経済安保」に惑わされ

余りにも問題の多い法律。しかし、共産党以外に内容を問題にする党がなくて成立。これは民主主義の危機では？

食料安保が含まれない

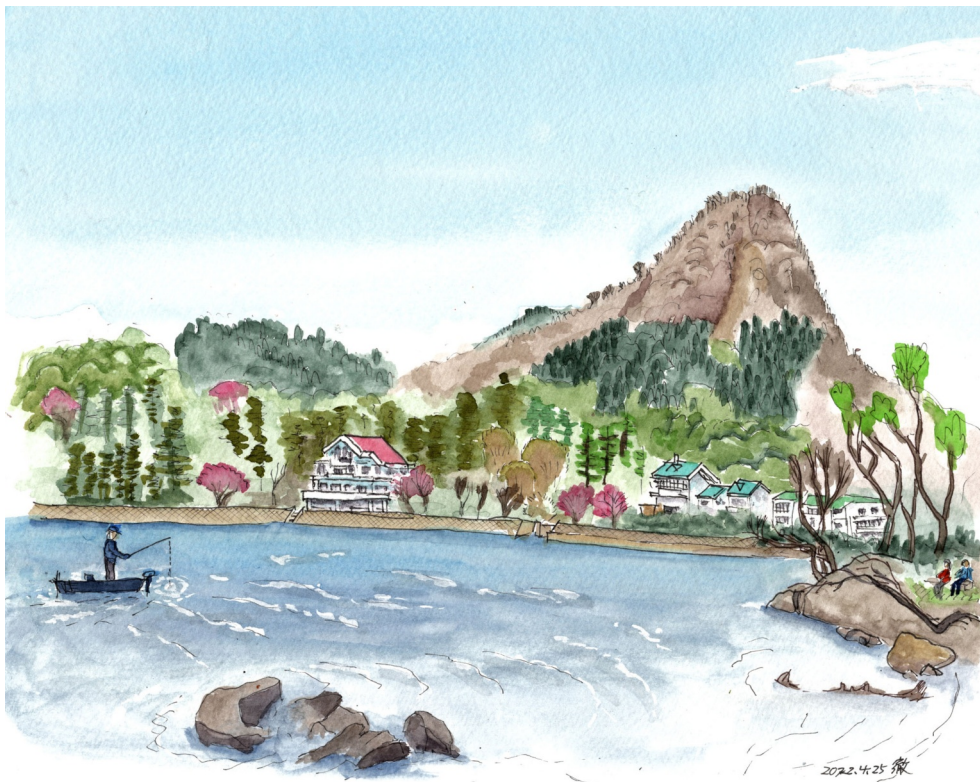
今秋には穀物が国際的に不足する。

経済安保と云うが食料安保の条項が無い。食料安保の為、例えば、田畑の休耕をやめ米を増産したらどうだろうか？ 輸入穀物高騰で儲けるのはそれを扱う大商家。対策をとらないのは大商家の利益の為？ あなたはどう思われますか？

榛名湖と烏帽子ヶ岳

群馬県高崎市榛名湖町

二〇二二年四月



榛名湖は榛名山にあるカルデラ湖。

榛名山は50万年前から噴火。22万年前にカルデラが生成、榛名湖が出来た。中央火口丘の榛名富士は五く六世紀に噴火。湖岸の岩はその時の遺物だろうか。

後方に見える烏帽子ヶ岳は外輪山の一つ。

冬には湖面が凍結しワカサギ釣りを楽しむことができたが、最近氷が薄いそうだ。

電動船外機を付けたボートが、湖面をあちこち。釣り客向けにポイントを探っているのだろうか？

湖岸にある赤い屋根の「セゾンドはるな」に宿泊。フランス料理の美味しい店。

「山の淋しい湖に一人来たのも悲しい心」と高峰三枝子が歌った「湖畔の宿」の湖が榛名湖だ。一時はのど自慢で流行った。

